

新型インフルエンザ・ニュースレター@青森県

平成 26 年 1 月 24 日発行（第 4 巻第 1 号）

24th January 2014 Volume 4 Issue 1

こんにちは、青森県保健衛生課です。

多くの皆様にご覧いただき、誠にありがとうございます。
ごぞいます。

今後も引き続き、『新型インフルエンザ・ニュースレター@青森県』を平時での新型インフルエンザ対策のほか、通常の季節性インフルエンザ対策にもご活用ください。

Inside This Issue

1. 鳥インフルエンザのヒトへの感染
 2. 県内の一部地域でインフルエンザ注意報
- ▼トピックス▼

1. 鳥インフルエンザのヒトへの感染

Human infection with avian influenza

1-1 鳥インフルエンザ A (H7N9)

WHO は、1 月 21 日、鳥インフルエンザ A (H7N9) に関するリスク評価を発表しました。その概要は、次のとおりです。

注) 2013 年 3 月 31 日以降 2014 年 1 月 24 日までに、感染患者 238 人（うち死亡者 57 人）が報告されています。

患者の発生状況

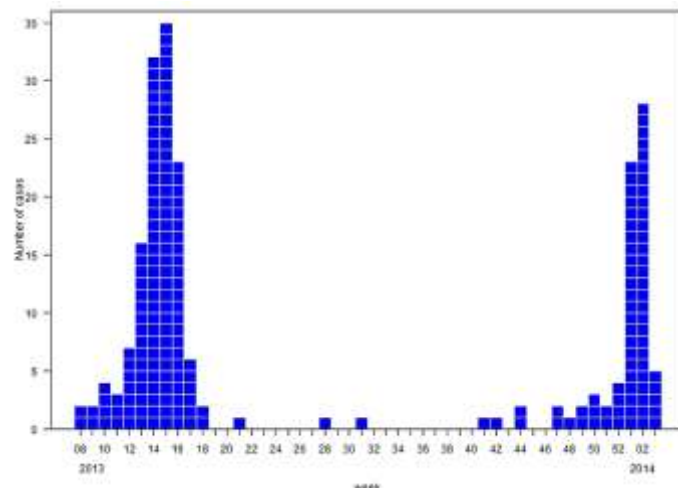
2013 年 3 月 31 日、中国政府は、鳥インフルエンザ A (H7N9) ウイルスへの感染が確認された 3 人の患者の発生を公表しました。感染患者は、同年 3 月から 5 月までの第 1 回流行では 133 人で、その後同年 7・8 月には 2 人、同年 10 月以降の第 2 回流行では 2014 年 1 月 21 日までに 74 人が報告されています。

○性別： 男性、女性の両方で患者が発生しているが、男性での発生頻度が高い

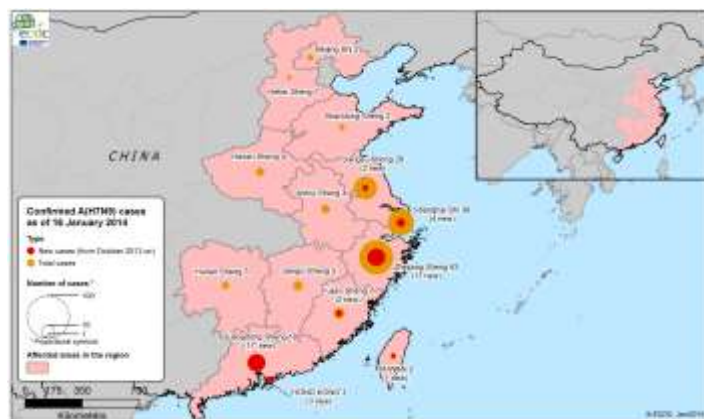
○年齢： 年齢幅は広範囲であるが、第 1 回流行では患者のほとんどが中高年男性、第 2 回流行では高年齢層への偏りが小さくなった。また、子供の患者は 1 人、10 代の患者はない。年齢の中央値は、第 1 回流行では 58 歳、第 2 回流行では 52 歳。

○致死率： 第 2 回流行では、第 1 回流行の致死率より低い（ただし、感染患者の多くが現在も入院中であるため、今後も十分な監視が必要。）

○臨床像： 軽症の患者も報告されているが、主に急速に進行する重症肺炎。無症状患者は報告されていない。



(グラフ：発症週ごとの感染患者数 [WHO 2014.1.21](#))



(地図：感染患者の地理的な状況 [ECDC 2014.1.16](#))

ウイルスの特徴

○ウイルスの類似性： 第 1 回流行時のウイルスと第 2 回流行時のそれとは類似

○抗インフルエンザウイルス薬への感受性： オセルタミビル、ザナミビルに感受性あり（アマンダジンには耐性があると考えられる）

ヒトでの感染源

○動物の宿主、ヒトへの感染源・経路を含めてほとんど未知なまま

○ほとんどの感染患者は鳥又は生きた家きんを扱う市場での曝露歴がある

○患者から分離したウイルスは「鳥インフルエンザ」であり、鳥及び環境から分離されたウイルスとは遺伝子的に類似

ヒト-ヒト感染の証拠

現在までの情報では、「**持続的なヒト-ヒト感染の証拠はない**」としています。

○数例のクラスター（感染集団）が報告されているが、医療関連の事例を含みクラスター数の増加は見られない

○第2回流行において、医療関係者1人の感染が確認されたが、この患者からの感染は確認されていない（この患者は、家きん又は汚染環境への曝露があったものと考えられている）

公衆衛生上のリスク（2014年1月21日現在）

2013年12月20日現在のリスク評価を変更しない

（WHO「鳥インフルエンザA（H7N9）ウイルス」
http://www.who.int/influenza/human_animal_interface/influenza_h7n9/en/index.html）

1-2 鳥インフルエンザ A（H5N1）

WHOは、2013年12月20日現在の鳥インフルエンザA（H5N1）に関するリスク評価を発表しました。その概要は、次のとおりです。

患者の発生状況

2003年から2013年12月20日までに、15カ国から648人の感染患者が報告され、このうち384人が死亡しています。

前回（2013年12月10日）のリスク評価以降では、新たな患者は発生していません。

公衆衛生上のリスク（2013年12月20日現在）

感染患者の散発的な発生やクラスターの発生は起こりうるが、地域感染のリスクは低い

注）2013年12月20日以降2014年1月23日までに、カナダ（下記参照）及びベトナムから、それぞれ1人の感染患者の報告があり、その結果、16カ国から650人の感染患者（うち死亡者386人）となっています。

記 カナダでのA（H5N1）感染症例の発生

WHOは、1月9日、カナダにおけるA（H5N1）感染症例の発生報告を発表。

患者は、発症前は健康な成人で、2013年12月6日から

12月27日まで北京に滞在し、カナダに戻った12月27日に発症、2014年1月3日に死亡しています。患者には、家きん等の動物や他の発症者との曝露はありませんでした。現在、世帯内及び医療関係者などの濃厚接触者は健康観察されていますが、無症状となっています。また、航空機の同乗者への聞き取りなども行われています。

A（H5N1）感染患者の発生は、カナダでは初めてのものであり、南北アメリカ大陸においても初めてのものです。

（WHO 鳥インフルエンザA（H5N1）のヒトへの感染 2014年1月9日

http://www.who.int/csr/don/2014_01_09_h5n1/en/index.html#）

1-3 その他の鳥インフルエンザのヒトへの感染

鳥インフルエンザ A（H9N2）のヒトへの感染

香港保健予防センターは、2013年12月30日、A（H9N2）感染患者の発生を報告。患者は香港との境界近くの広東省深圳市に住む86歳の男性で、家きんや他のインフルエンザ患者との接触等はありませんでした。症状は軽症で、接触者での発症者もいませんでした。

香港では、1999年、2003年、2007年、2009年にA（H9N2）患者の発生、2008年にはA（H9N2）輸入症例の発生がありました。

（香港保健予防センター2013年12月30日
http://www.chp.gov.hk/en/view_content/32802.html）

鳥インフルエンザ A（H10N8）のヒトへの感染

香港保健予防センターは、2013年12月17日、世界初のA（H10N8）感染患者の発生を報告。患者は中国江西省に住む73歳の女性で、同年11月30日に重症肺炎の診断を受け入院、12月6日に死亡しています。患者は基礎疾患があり、発症前に生きた家禽を扱う市場を訪れていました。

H10 垂型の鳥インフルエンザは、2010年に豪州の鳥処分者2人のA（H10N7）への感染事例、2004年にエジプトの幼児のA（H10N7）の感染事例が報告されています。

（香港保健予防センター—2013年12月17日
<http://www.info.gov.hk/gia/general/201312/17/P201312170562.htm>）

2. 県内の一部地域でインフルエンザ注意報

Seasonal Influenza - Situation in Aomori

八戸、上十三保健所管内で、注意報

2014年第3週の定点当たり報告数は6.44(定点数64ヶ所、報告数412人)となり、前週の報告数(定点当たり報告数2.70)より増加しました。

八戸、上十三保健所管内において注意報が発令されました。

なお、県内では、定点当たり報告数が1.03となった2013年第52週に、インフルエンザ流行シーズンに入ったと考えられます。

(インフルエンザに注意しましょう！2014年1月23日
http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/seasonal_flu.html)

▼トピックス▼

Topics in Aomori

◆新型インフルエンザ等対策青森県行動計画の作成(2013年11月15日)

県では、新型インフルエンザ等対策特別措置法第7条に基づく都道府県行動計画を作成しました。

〈新型インフルエンザ等対策青森県行動計画〉
http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/flu_keikaku.html

◆指定地方公共機関の指定(2013年11月22日)

県では、新型インフルエンザ等対策特別措置法第2条に基づく指定地方公共機関として、20法人を指定しました。

〈指定地方公共機関の指定〉
<http://www.pref.aomori.lg.jp/kenhou/km20131122a3773.html>

◆特定接種の登録申請について(病院・診療所) (2014年1月20日～)

県では、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく特定接種の対象事業者に関する登録のうち、医療機関からの登録申請の受付を始めました。

〈特定接種の登録申請について(病院・診療所)〉
http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/shingata_tokutei.html

◆新型インフルエンザ等対策のための情報共有・伝達等訓練の実施(2014年1月21日～22日)

県では、海外での新型インフルエンザ等の発生疑い等を想定して、各関係機関等との情報共有や情報伝達等に関する訓練を実施しました。

〈新型インフルエンザ等対策に係る訓練の実施〉
http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/shingata_kunren.html

発行

青森県保健衛生課

〒030-8570 青森県青森市長島1丁目1番1号

Phone : 017-734-9215 Fax : 017-734-8047

インフルエンザ対策ホームページ

http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/pandemic_flu_action.html